

授業の流れシート（指導案を作成していない場合は、こちらに記入をお願いします。）

単元名 (+教科書名)	『作家で広げるわたしたちの読書』 国語五 銀河(光村図書)
対象学年	5 年
授業実施日	2025年8月29日
事前の準備	2025年7月14日 同じ作家の本を図書室で2冊借り、夏休み期間中に読む
当日の内容	導入 はじめに、本の紹介カードの作り方について確認した。 紹介カードの書き方として、①作家の名前②どんな人に勧めたい本か、「キャッチコピー」を考える③本の紹介文には、どうして読みたくなる本なのか、紹介文を読んで読み手がその本を読みたくなるような工夫をして文を書く、これらの内容を事前に確認した。また、前年度に書かれた紹介カードの例を提示することで、どんな本を、どんなキャッチフレーズで、どんな内容にまとめているか、イメージをもてるようにした。 展開 自分が選んだ作家の本について、伝えたい内容、作品の魅力について紹介したい内容を短くノートにまとめていくようにした。はじめに紹介文を書く児童もいれば、まずキャッチコピーを考え、それから紹介文を書く児童もいたので、書きやすい順番で書いてよいことを伝えた。また、キャッチコピーが思いつかない児童もいたため、本の内容を一緒に確認しながら、どんな場面でドキドキするか、どんな展開が作品の見どころなのかを聞き取り、児童のイメージに合う言葉を一緒に考えていった。 書き上がった紹介文は、パソコン端末の文書作成ソフトに入力をした。パソコンに清書をすることで印刷が可能になったり、本の表紙を検索し画像を貼り付けたりすることで、紹介文を見やすくする、掲示物として活用できる、友達と見合うときに活用がしやすいなどのメリットがあった。 まとめ 本時を通し紹介文を書くことで、自分が紹介する作家の本のどんなところに魅力があるのか、改めて感じたことを振り返っていった。また、それらの本をどんな人に読んでもらいたいか、その本を読んだ人と話をしたらどんな楽しさがありそうかなどの視点を振り返りに書けるとよいことを伝えた。 最後に、次の時間は友達と紹介文を読み合い、感想交流を行うこと伝えた。
シート記入者名	兼長 良平